

# 令和4年度事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

特定非営利活動法人 放課後こどもクラブBremen

## 1 事業の成果と課題

SDGsの目標に基づき、児童福祉法に則って事業を進めてきた。

2022年度は、新型コロナ感染予防対策に注意を払いながら、様々な体験活動を年間286日休むことなく実施できた。利用児童は延べ2636名を数えた。

実数としては、20名だった児童がコロナ禍における児童のストレスを解消し学習の遅れを取り戻せるように、引き続き「遊び」と「学習」「体験活動」を柱に企画運営した。

これらの活動を通して、児童の社会性や学習能力の向上が見られるようになり、今年度は2名の児童が大きな成長を遂げて卒業した。障害児の保護者も安心して働くことができるようインクルーシブ教育も推進した。絶え間ない努力の結果、各方面でBremenへの認知も広まり、Bremenの活動に対する信頼感が高まり、地元紙の「教育」のページへのコラムを依頼されるまでになった。

令和4年度は、事業計画に則って、一般児童対象の「無料の学習支援」「文庫活動」「組織基盤強化」を継続的に1歩進めて推進した。

「文庫活動」については、固定的に利用する児童は複数いて心穏やかな時間を過ごしているが、地域への広がりはまだ十分見られてはいない。FBでの周知を行っているものの、更に多くの子ども達にとって魅力あるプログラムにしていけるためにパソコンの利用も行っている。

「組織基盤の強化」については、2名の事務職員を採用し、研修等で会計分野、ファンドレイジング関係の基盤強化を図った。ホームページを通じた寄付支援の充実、寄付者名簿の整備、広報関係の充実など多くの成果が見られた。

石巻市の学力低下への支援として「石巻市の学習向上を応援する会」を令和3年度に結成し、令和3年12月より公民館で「無料学習会」を開催している。それに伴い「石巻市社会教育団体」として申請し、1年間実施してきたが利用者の拡大が追い付かず固定化する傾向があった。(担当職員数 115名 年間利用者数 234名)

積極的な広報展開をし、受益者を拡大してきた。人材育成の面で十分な成果があげられるように人材育成面で計画的な推進をしてきたが、これから一層効果的な広報を工夫する必要がある。

(新聞掲載 22回、内容 プレーメン音楽会、夏の野外体験活動、日独絆コンサート、子ども防災町歩き、こども将棋大会、熊谷有嗣さんのライフキネティック 等等)

財務基盤整備のために、委託事業への条件整備や会計事務所と連携する試みをしたが、十分な連携ができなかった。会計職員を採用し研修も受けて理解してもらおう努力をしたが、急な退職等で採用面や職員管理面での課題が残ったため、次年度には改めて当団体に即した体制を構築し、改善したい。

## 2 事業に関する事項

### ○「子ども支援」について

学力低下に対しては、日中の学習支援と同時に夕方の学習支援(トワイライトスタディ)もきめ細かく行い、開設日は毎日日中の学習支援を行い、それぞれ プログラミング週2コマ(1コマ30分から50分、発達段階に合わせて実施)、音楽遊び、国語算数、個別指導、英会話 など基礎的な学習内容を身に付けさせることができた。日中の学習支援と夕方の学習支援を合わせると、延べ2636名の児童を支援することができた。

無料の学習支援については、第1、3、4火曜日に実施し、Bremen外のお子さんを含めて、延べ234名のお子さんを支援できた。

子ども達を取り巻く環境に多様性を担保するために障害児と健常児のインクルーシブ教育や外国人とのふれあいも大切にしてきた。インクルーシブ活動を通してそれぞれの違いをあたり前のこととして受け止め、互いに尊重する態度が育ってきている。しかし、遊びの質が違うために、支援員によるきめの細かい支援が必要になる。

野外体験・防災体験活動については、以下のように実施した。

- ・7月24日「夏の親子野外体験」(子ども 24 名、保護者 17 名 幼児 名、スタッフ 13 名を入れて54名)登米市で実施。歴史散歩、陶芸教室、流しそうめん等行った。)
- ・11月3日「秋の親子野外体験」(子ども 18 名 保護者 11 名、スタッフ 10 名、職員等 6 名)、宮城県フットピア公園 岩手県アーク牧場で実施。
- ・10月11日「防災街歩き」は、MEET門脇と連携し、原子力災害と津波被害の両面から木村氏のお話を伺った。その後、日和山への避難活動を行った。南は松波復興祈念公園参加型協議会の助成を受けてヘルメットを購入できた。

### ○「子育て支援」について

教育に時間や資金を割くことのできない家庭への支援の一つとして、チャンスフォーチルドレンと提携して生活が苦しい家庭の会費負担を無償にできた。

貧困に陥りがちな女性のひとり親世帯支援のため、「石巻市の学力向上を応援する会」の他団体と協力しあって種々の支援を実施してきた。負担を最小限に抑えた会費設定、送迎活動、延長保育、食の提供もその一つとして実施してきた。仕事の提供も行い、挫けそうになるひとり親を支え続けているので、将来に向かって頑張ろうとする姿も見えてきた。これらの活動を通して、保護者は安心して働くことができるようになってきている。しかしながら、コロナ禍中のひとり親家庭の苦境状態は大きく、精神的に追い詰められている状況も見られるため、さらなる支援が必要である。

### ○「地域支援・保護者支援」

・Bremenは39回の計画を立て、そのうち38回、実施できた。延べ404名のお子さんが参加し、演劇活動・音楽活動・創作活動など多方面での経験を重ねることができた。別紙参照

・「遊びっこクラブ」地域の中で児童クラブ在籍児童と地域の子どもが共に遊べるように、「遊びっこクラブ」を運営した。地域の保護者同士も互いの信頼を深めている。在籍児童の友人児童が随時遊びに来ている。

・「伝統文化の継承」

日本古来の伝統文化である将棋文化を広く浸透させるために、1月8日(土)第9回「石巻地区子ども将棋大会」を実施した。

毎週火曜日に阿部徹先生の指導で練習をし、10月、11月、12月と3回の練習会を実施した。今回は、コロナ感染予防対策のため規模を縮小して実施したが、それでも47名の子ども達が参加し、熱戦を繰り広げることができた。小学1年生や幼稚園児が入賞し、他の将棋大会にも参加する児童がいて、浸透していると感じている。

### ○職員研修 人材育成研修会

・ファンドレイジング関係を重視し、主に広報担当のファンドレイジング関係研修に力を入れた。以前から実施している内容については強化できたが、新しい分野の団体等との協力や開拓など十分とは言えない状況であったので次年度一層の働きかけを行う必要がある。

### ○経営基盤の安定化について

・石巻市からかねてより打診を受けていた質の良い児童クラブ運営業務(事業名称「石巻市放課後児童クラブ運営業務」)についてプロポーザルに応じたが、諸事情により非採択となった。石巻小学校の児童クラブを運営しようと考えたが、石巻市は大手のシダックスを選定した。経営基盤の強化という点では、残念な結果ではあった。

・広報の担当を起用し、知名度向上に力を入れた。担当者の意欲は高まっており、実績を上げる時期に差し掛かっているものと考えている。

○他団体との協働

- ・石巻市石巻教育委員会 石巻福祉部子育て支援課 ・宮城県放課後児童クラブ連絡協議会
- ・全国地域づくり団体 全国地域リーダー・石巻市・石巻教育委員会・石巻市福祉部
- ・東日本大震災・石巻南浜津波復興祈念公園参加型協議会 伝承部会所属 ・いしのまき会議
- ・ソロプチミスト石巻サンファン 理事 ・宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会
- ・石巻市の学力向上を応援する会 ・宮城県共同参画推進室 ・石巻日中友好協会

○中学高校生への学習支援事業再開

Bremenでは、定款で、以下の4つの事業推進を掲げている。令和元年度以降は「③中学高校生への学習支援事業」を休んでいたが、卒業生が中学生になったために、今年度から再開することとした。

「④その他、目的を達成するために必要な事業」には、下表の学習支援、放課後子ども教室、遊びっこクラブ、野外体験活動、防災活動、こども将棋大会・練習会、講演会等が含まれる。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
放課後児童健全育成事業	放課後児童の保育 (保護者に対する子育て支援を含む)	4月1日 ～3月31日	Bremen 会館他	12人	石巻小・蛇田小 山下小・貞山小 大街道・開北小 中里小対象 2097名	13,270
遊びっこクラブ事業	石巻小学校学区の 児童の遊び支援	4月1日 ～3月31日	Bremen 会館他	12人	石巻小 279名	
学習支援	日中の学習支援、 夕方の教室(国語・算 数、英会話、プログラ ミング入門)を無償で実施	4月1日 ～3月31日	Bremen 会館	14人	Bremen(放課後児 童クラブ)に通う児 童 20名	4,297
放課後子ども教室事業	旧石巻地区の児童の 体験活動	4月1日 ～3月31日	石巻中 央公民館他	10人	石巻小・蛇田小 山下・大街道小 開北小・貞山小 38回開設 436名	
文庫活動	学区に住む高校生 までの文庫活動	4月1日 ～3月31日	Bremen 会館	138名	児童138名、大人 17名	
野外体験活動	石巻市内全域の 児童と家族対象に 野外体験	7月23 日	かじか 村	9名	児童24名、幼児0 保護者17名、スタ ッフ9名 児童18名、保護 者11名スタッフ9 名	1,065
		11月3日	アーク 牧場	9名		
防災活動	地震・津波時の避難 訓練を含む防災教育	10月10 日	つなぐ 館	11名	市内全域 小学生対象	
こども将棋大会・練習会	伝統文化の継承	1月7日	門脇	3回 31人	市内全域 小中学生対象 延べ 217人参加	1,335
中学生学習支援	中学生への指導	4月1日 ～ 3月31日	Bremen 会館	1	市内全域中学生	156

2022年度研修参加回数

實鈴子	阿部比佐子	伊藤翔勇	阿部絵里	網島裕子	木村整	千葉政徳
12回	2回	6回	1回	1回	9回	2回